

別表 救急看護師のクリニカルラダー  
日本看護協会看護師のクリニカルラダーと救急看護実践例

定義	レベル		I	II	III	IV	V
	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズを捉える力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえる
		【JNA行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を元に、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
		【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら健康問題に緊急性のあるケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を元に、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度・緊急度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況(場・緊急性・重症度)の判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 緊急かつ複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	<実践例>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■助言を受けながらケアの受け手の状態に合わせたバイタルサインや観察から得られた身体情報を用いてフィジカルアセスメントを行う</li> <li>■助言を受けながらケアの受け手の苦痛(痛み、不快感等)に関する精神的情報を得る。</li> <li>■助言を受けながら健康問題に影響しているケアの受け手を取り巻く環境の社会的情報を得る</li> <li>■助言を受けながらケアの受け手の信念や信仰がどのように健康問題に影響しているかスピリチュアルの情報を得る</li> <li>■助言を受けながら、生理的機能の変化による生命危機や苦痛の増強から緊急度をとらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1人でケアの受け手の状態に合わせたバイタルサインや観察から得られた身体情報を用いてフィジカルアセスメントを行う</li> <li>■1人でケアの受け手の苦痛(痛み、不快感等)に関する精神的情報を得る。</li> <li>■1人で健康問題に影響しているケアの受け手を取り巻く環境の社会的情報を得る</li> <li>■1人でケアの受け手の信念や信仰がどのように健康問題に影響しているかスピリチュアルの情報を得る</li> <li>■1人で生理的機能の変化による生命危機や苦痛の増強から緊急度をとらえる</li> <li>■助言を受けながら体験したことを活用し、ケアの受け手の状況から直近の予後を予測する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自らの判断でケアの受け手の状態に合わせたバイタルサインや観察から得られた身体情報を用いてフィジカルアセスメントを行う</li> <li>■自らの判断でケアの受け手の苦痛(痛み、不快感等)に関する精神的情報を得る</li> <li>■自らの判断で健康問題に影響しているケアの受け手を取り巻く環境の社会的情報を得る。</li> <li>■自らの判断でケアの受け手の信念や信仰がどのように健康問題に影響しているかスピリチュアルの情報を得る</li> <li>■自らの判断で生理的機能の変化による生命危機や苦痛の増強から緊急度をとらえる</li> <li>■得た情報からケアの受け手の全体像を把握し、個性を踏まえて抱えている健康問題をとらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自ら予測的な判断で意図的にケアの受け手の個性を踏まえ、バイタルサインを観察し、詳細なフィジカルアセスメントを行い身体的情報を得る</li> <li>■自ら予測的な判断で意図的にケアの受け手の個性を踏まえ、他覚的に苦痛(痛み、不快感等)がないか情報を得る</li> <li>■自ら予測的な判断で意図的にケアの受け手の個性を踏まえ取り巻く環境の取り巻く環境の影響の社会的情報を得る</li> <li>■自らの予測的な判断で意図的にスピリチュアルな側面において、ケアの受け手の個性を踏まえ、信念や信仰がどのように健康問題に影響しているか情報を得る</li> <li>■仮説をもって情報収集し、意図的に得た情報からケアの受け手の全体像を把握し、個性を踏まえて抱えている健康問題をとらえ、統合的なトード、優先度を判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多角的視点から迅速にケアの受け手を取り巻く状況をとらえ、判断し、多様なニーズをとらえ、介入の必要性を判断する</li> <li>■ケアの受け手を生活者としてとらえ、予後や治療による影響、予測される日常生活、多様な情報を収集し、多角的な側面からニーズをとらえる</li> <li>■地域全体を俯瞰して、ニーズに対して不足している機能に気付く</li> </ul>	